

平成28年度施策評価調査書

整理番号	11
評価担当課	市民部環境生活課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	交通安全意識の高揚(3-5-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしくて快適で安心なまちづくり
	主要施策	5	交通安全

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	市内の交通安全機関・団体等で構成する、名寄市交通安全運動推進委員会を中心に、交通事故のないまちづくりに向け、交通安全意識の普及・啓発に努め街頭指導、交通事故防止の啓発資材の配布など、家庭・学校・職場・地域の中で、幼児から高齢者まで意識の高揚に努めます。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	交通安全運動は全国、全道の運動と合わせて4期間、40日実施、名寄警察署管内独自で2期間、20日実施しています。幼児の交通安全教室(こぐまクラブ)は市内4幼稚園で月1回実施しています。自転車の交通ルールパンフレットをH25年度に全小学生、H26年度に全中学生・全高校生に配布をし、H27年度には市内全戸に自転車の安全運転チラシを配布し意識高揚、啓発を行っています。
施策の課題	安全で安心な社会づくりのため、継続的な活動が必要です、悲惨な交通事故の根絶を目指して、市内の交通安全関係機関、団体との連携のもと、様々な啓発活動や事故防止対策に取り組み、市民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る必要があります。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
交通安全教育の実施	こぐまクラブ実施回数	目標値	40	40	40	40
		実績値	40	40	40	40
		進捗率	100%	100%	100%	
全市民参加の交通安全	旗の波運動参加者数	目標値				
		実績値	200	220	250	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
官民一体の運動推進の体制強化	各種団体への補助金(単位千円)	目標値				
		実績値	4,978	4,978	4,978	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	交通事故防止、死亡事故ゼロを目標に日々関係機関や団体と連携し活動をしており、一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図っている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

引き続き交通安全団体・町内会、関係機関と一体となって交通事故死ゼロを目指して交通安全運動を継続していかねばなりません。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	体系的な交通安全教育の実施	幼児交通安全教室(こぐまクラブ)の実施など	12,088	a	a	a	a	a	A	A	A
2	全市民参加の交通安全運動の実施	旗の波運動の実施など	事業費なし	a	a	a	a	a	A	A	A
3	官民一体の運動推進の体制強化	市、安協、町内会、警察署などと連携した交通安全運動の実施	4,978	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	11	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	市民部環境生活課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	体系的な交通安全教育の実施			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしい快適で安全で安心なまちづくり
		主要施策	5	交通安全
		基本事業	1	交通安全意識の高揚
		実施計画事業	1	体系的な交通安全教育の実施

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	安全で安心な社会づくりのため、悲惨な交通事故の根絶を目指して、交通安全関係機関、団体と連携のもと啓発活動や事故防止対策に取り組む。			
対象(何を又は誰を)	全市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	幼児交通安全教室(こぐまクラブ)、町内会で出前トーク、パンフレット、チラシ等の配布			
意図(どのような成果を期待しているか)	交通事故の防止、交通マナーの向上			
事業実施主体	名寄市、名寄市交通安全運動推進委員会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市交通安全条例、名寄市交通安全計画			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 こぐまクラブの実施園児数	人	目標					
			実績	422	431	416	420	
	2 啓発パンフレットの配布数	部	目標					
実績			1600	1600	2000	2000		
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳	
事業費	11,997	12,035	12,088	12,305	嘱託職員報酬	6,136千円
国道支出金					交通安全推進員	1,705千円
地方債					女性交通安全教育指導員	4,430千円
その他					共済費	265千円
一般財源	11,997	12,035	12,088	12,305	報償費	199千円
人件費	4,478	4,441	4,348	4,183	旅費	101千円
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	需用費	410千円
担当職員数	0.67	0.67	0.67	0.67	負担金補助及び交付金	4,978千円
総事業費	16,475	16,476	16,436	16,488		
対前年比(%)	—	100	100	100	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1					
	活動指標2					
	活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市民の安全確保に教育活動や啓発活動は必要。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	教育活動や時期に合わせた啓発活動は有効。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	いつ事故が発生するかわからないので継続して行くことが必要であります。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	受益者負担はありません。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	継続した教育や啓発が必要。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	市民の事故防止、安全確保には継続した交通安全教育と啓発活動を、関係機関と連携し取り組んでいる。	
A: 現状のまま継続 B: 進め方を改善 C: 規模・内容を見直し D: 抜本的な見直し (廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	幼児同様に高齢者に対する取組みも検討して欲しい。

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	11	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	市民部環境生活課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	全市民参加の交通安全運動の実施			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしい快適で安全で安心なまちづくり
		主要施策	5	交通安全
		基本事業	1	交通安全意識の高揚
		実施計画事業	2	全市民参加の交通安全運動の実施

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	安全で安心な社会づくりのため、悲惨な交通事故の根絶を目指して、交通安全関係機関、団体と連携のもと啓発活動や事故防止対策に取り組み、全市民的な活動を行なう。			
対象(何を又は誰を)	全市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	旗の波運動や交通安全大会を実施する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	交通事故の防止、交通マナーの向上			
事業実施主体	名寄市、名寄市交通安全運動推進委員会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市交通安全条例、名寄市交通安全計画			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位					目標年度 (年度)
			H25	H26	H27	H28見込	
活動指標	1 旗の波運動の参加者	目標					300
		実績	200	220	250	250	
	2	目標					
		実績					
	3	目標					
		実績					
成果指標	1	目標					
		実績					
	2	目標					
		実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	市民や関係機関と連携した旗の波運動や該当啓発事業であり経費はない。
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	市民の参加の交通安全運動は効果がある。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	時期に合わせた啓発や活動は有効。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	いつ事故が発生するかわからないので継続して行くことが必要であります。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	受益者負担はありません。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	継続した教育や啓発や活動が必要。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	市民参加の事故防止、交通安全意識の高揚に向けた交通安全運動が必要。	
A: 現状のまま継続 B: 進め方を改善 C: 規模・内容を見直し D: 抜本的な見直し (廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調書

整理番号	11	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	市民部環境生活課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	官民一体の運動推進の体制強化			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	3	自然と環境にやさしい快適で安全で安心なまちづくり
		主要施策	5	交通安全
		基本事業	1	交通安全意識の高揚
		実施計画事業	3	官民一体の運動推進の体制強化

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	安全で安心な社会づくりのため、悲惨な交通事故の根絶を目指して、交通安全関係機関、団体と連携のもと交通安全意識の高揚につなげます。				
対象(何を又は誰を)	全市民				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	交通安全団体・機関の相互協力及び協働体制				
意図(どのような成果を期待しているか)	交通事故の防止、交通マナーの向上				
事業実施主体	名寄市、名寄市交通安全運動推進委員会				
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()				
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期 年度)	無
根拠法令・条例等	名寄市交通安全条例、名寄市交通安全計画				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1	千円	名寄市交通安全運動推進委員会補助金	4,000	4,000	4,000	4,000	
	2		名寄地区交通安全協会連合会補助金	432	432	432	432	
	3	千円	名寄・風連交通安全協会	531	531	531	531	
成果指標	1							
	2							

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	4,978	4,978	4,978	4,978	各種団体負担金補助及び交付金 4,978千円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	4,978	4,978	4,978	4,978	
人件費	3,342	3,315	3,245	3,122	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数	0.50	0.50	0.50	0.50	
総事業費	8,320	8,293	8,223	8,100	
対前年比(%)	—	100	99	99	コストの算出方法
事業コスト					
活動指標1					
活動指標2					
活動指標3					

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	官民が統一行動により一層効果がある。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	各団体の協働での活動は有効。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	いつ事故が発生するかわからないので継続して行くことが必要であります。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	受益者負担はありません。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	継続した協力活動や啓発が必要。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	市民の事故防止と安全確保には、各種団体との連携による継続した交通安全運動が必要となります。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり